

# eトレ Times

イートレタイムズ 2021 秋号

## CONTENTS

1対2の個別指導から、個を見る「自律学習」へ。  
地域ナンバーワン個別指導塾は  
なぜ、「自律学習」へ舵を切ったのか。……………123

eトレの心(6) eトレのまみの親が語る  
塾が居場所……………3

### 隣のeトレ教室訪問

■個別指導「3.14…」  
(北海道 28校舎)……………45

近道はない。  
“解いた数”だけが、“解く力”に —  
この冬、圧倒的な演習量を……………67

【教室+家】  
学習時間を確保し、学習量を大幅アップ！

eトレ春パック……………8



## 1対2の個別指導から、 個を見る「自律学習」へ。 地域ナンバーワン個別指導塾は なぜ、「自律学習」へ舵を切ったのか。

\*個別指導「3.14…」では、自主性を重んじ、自学力の育成を行う観点から「自立」ではなく、「自律」を用いています。

今回は、株式会社れんせいの原田統括本部長を迎え、教育開発出版株式会社札幌営業所の木川と、エルソフト株式会社佐々木で、小学生の自律学習や子どもを惹き付ける講師の育成などについて話をお聞きしました。

**教えすぎる個別指導から、生徒が自身で考える自律学習への変革**  
**地域ナンバーワン個別指導塾**  
**「3・14…」の戦い**

**佐々木** この度は、対談のお時間をいただきありがとうございます。早速ですが、まず御社が教室を展開されている北海道というのは、学習塾目線でのどのような地域でしょうか。

**原田** そうですね。北海道は、もともと公教育の強い地域です。現在はコロナによる不況でそれが強まっている感じですね。また、首都圏とは違いそこまで中学受験が盛んなわけではありません。もっと言うと学習塾にたくさんのお金をかけられない地域、とも言えると思います。とは言え、学習指導要領が変わったことで、知識だけではなく、思考力や表現力など自ら考える力が求められることを保護者の方々は分かっています。その上で、最近よく相談されることとして、自律的に育てなければいけないと思いつつも、過保護にしてしまうというジレンマを抱えているという話が多いですね。

これはまさに私が個別指導に携わりながら、感じていたことと同じです。しっかりと寄り添って指導してあげたい。しかしそればかりだと、自分ひとりで考える子どもにならないのではないかと。我々もそんなジレンマを抱えて、指導をしていました。この点は、親心と似ていると思います。

**佐々木** 全国の学習塾様を訪問すると、個別指導塾で同じ悩みをお聞きしますね。子どもを自立させたい、そして主体的に動いてほしい、だからeトレを活用し始めたというお声は数多くあります。御社のブラン

ド「3・14…」は個別指導でしたが、eトレを活用した自律学習へと舵を切られました。発端は、そのジレンマだったと思いますが、自律学習に辿り着くまでどのような試行錯誤がありましたか。

**教えすぎる個別指導の限界を感じて、小学部から自律学習を**

**原田** 実はですね、教えすぎる個別指導ってどうなんだろう、という話は弊社内で10年くらい前から出ていました。先ほどお伝えしましたが、優秀な高校に行ったとしても、先生が横にいないと途端に勉強ができなくなる生徒が一定数いて、弊社の高校部から苦情がきていました。成績は良いけど自分ひとりで勉強できない、これでは大学受験は無理です。今まで何をしていたんですかって(笑)。

これは一から見直さなければならぬ。そうであれば、生徒にとってなるべく早い段階、小学生・小学部から変えなければいけないと思いました。そういう経緯で、まずパズル道場を始めました。その後いくつか導入したものがありますが、小学生のコンテンツはすべて、生徒自身で学習するものをそろえています。また、6年くらい前でいうか、「合格実現塾」というブランドでeトレを活用し、自律学習について試行錯誤しました。何年かかけ、これは良いと確信できた結果、個別指導「3・14…」の全教室へのeトレ導入となったのです。

**佐々木** なるほど、先生と保護者の抱えるジレンマの先に辿り着いたのが、「自律学習」であったということでしょうか。それ中、高ではなく、小学生からの自律学習ということですね。



練成会グループ 株式会社れんせい  
原田保 個別指導事業部小中部統括本部長

にしています。授業がない日でも塾に来て、自分でプリントを出して自習室で学習している生徒が多く、保護者の方に喜ばれています。

また、中学受験を目指す生徒は、みんなeトレを使っていますね。これは木川さんの話を信じて(笑)。

**木川** 大丈夫です、信じてください(笑)。私の子は中学受験の際、eトレに取り組んでいました。解いたプリントが増えるにつれ、「こんなにやった!」という達成感を得られているようで、本当に楽しんで進めているのです。親としては、そんなわが子を見て、とても嬉しい気持ちになったものです。1、2枚ごとに区切りがあり気軽にできるeトレだからこそ、どんどん進める気になるようです。それで私の子は中学受験も成功しました!

**父親は結果以上に、子どもが自主性を持って学習を進められることを喜ぶ。eトレには、自主的に学べる仕掛けが散りばめられている**

**原田** 木川さんではないですが、実は最近の保護者会が二親そろって、もしくはお父様がお一人で参加されることが増えていきます。そして生徒が学習を自主的に進めているeトレに好感を持たれることが多いです。お父様は結果はもちろんのこと、その過程においてとにかく自分で頑張る子にしてくれ、と考えていらつしやる方が大半ですね。eトレはそのお考えにぴったりのツールです。

**佐々木** eトレの良さとして問題量の多さの部分に目が行きがちですが、一番の良さはたくさん解ける仕掛けだと思っています。細切れになっていて、分かりやすいインデックスがあり、先生に学習計画を組んでもらえる。そうすれば、あとはこの流れに乗って生徒が自分で進めていける、この点ですね。たまに、一気にプリントを印刷してまとめて渡される塾もいらつしやいますが、eトレの魅力であるサクサク進む爽

快感や、プリントが積み上がる達成感を味わえないので、それはもったいないと伝えられています。

もう一つの良さは、一人ひとりのペースで学習すべきところを学習できる点です。もともとeトレは一斉指導で不足しがちな個別対応を目的の一つとして開発しました。ですので、御社の自律学習の流れに取り入れていただけているのは、eトレの本質に非常にマッチしていると思っています。

**原田** あと、eトレの学習の流れや、その動線もとても良いと感じています。具体的に言うと、10分程度で学習を区切って立ち上がり、先生に見せにくるという動きですね。この動きがあることで、先生と生徒とのコミュニケーションが生まれますし、生徒が動くことでリフレッシュできています。また、佐々木さんのおっしゃる通りで、eトレは生徒個々に対応できるツールだと思っています。我々としても長年、個別指導に取り組んできましたので、十分良い点は分かっております。eトレならそれを生かしつつ、我々の描いた理想を実現できると考えました。

**佐々木** 以前、個別指導塾の先生から聞いた話の中で印象的だったものがあります。問題が解けない生徒がすぐに「答えを教えてください」と先生に聞く流れができてしまい、その先へ結び付かないという話です。教えずぎた結果、考える過程が大事であるという学びの本質や、目的が見えなくなってしまうのでしよう。生徒の依存心を増させたと言ってしまうかもしれません。個別指導とは、個々の状況に合わせた指導であって、手取り足取り指導するという意味合いではない。生徒のたぬを思うのであれば、自立の流れを促すことが大切ということです。つまり、指導の本質は教えることではなく、生徒を導くことではないのでしょうか。

**先生の仕事は「教える」ことから「コーチング」へ**

**原田** おっしゃる通りで、コーチングやマ

ネージメントが先生の仕事になってきていると感じます。例えば、eトレで主体的に学習をしている生徒に、どうやって声を掛けて、マネージメントするか。また、どのように保護者の方をケアするのかを考えるのが我々の仕事ですね。一生懸命に教えるだけというのは、もう学習塾がやるべきことではなくなってきたと思います。

**木川** 自律して学習する力を身に付けられれば、今後どんな状況に直面しても、自分で考えて乗り越えていける、私もそう思います。ところで、eトレの自律学習の中で、宿題はどうされていますか?

**家庭学習でさえ、小学生が自らプリントを選び、印刷し、持ち帰るように**

**原田** 宿題は我々からは基本的に出しません。というのも、生徒自身が必要だと思うプリントを宿題として、自分で出すように促しているからです。そうすると半数以上の生徒は素直にプリントを印刷します。それを見て、印刷する気がなかった生徒も、「私も」とプリントを選びます。結果、ほとんどの生徒が、自習室や家でプリントに自主的に取り組んでいます。もし、それでも宿題を印刷しないという生徒が出てきたら、なぜ宿題はやる方がいいのか、知識を定着させるためにどんなプリントが必要か、など理解させるように働きかけています。

**佐々木** 宿題は有効な手段ではありませんが、これをやってね、と弁当を包むように渡すのも、自律を阻む要素の一つなのかもしれないですね。宿題でさえも、生徒自身で考え準備して、取り組むという自律の流れができていけるのは素晴らしいと思います。

**原田** 宿題に限らず、受け身ではなく能動的に動くことがいかに大事かを生徒に理解してもらえよう注力しています。そして、勉強の目標は合格であっても、勉強をする習慣を付けられないとロクな大人にならないよ、と言いかせ学習を促しています。



教育開発出版株式会社  
木川明 札幌営業所長

**学習塾は、お客さんを増やすことで評価されるサービス業という認識を持つさまざまな研修を駆使し、子どもへの関わり方を自ら考える先生に**

**木川** 生徒の学習習慣を変え、成績を上げるには、先生の力なくしては難しいと感じます。その点、「3・14」の先生方は、皆さんしっかりしていらつしやいますよね。講師や学生アルバイトの研修でどのような話をされていますか。

**原田** まず、塾は教育業ではなくサービス業だということを正社員だけではなく、講師全員に伝えていきます。楽しく教えて、何となく人気があればいいという楽しいバイトではなく、お客さんを増やすことで評価されるサービス業ですよ。また、学生講師はどうしても教えたがりです。ですので、なぜ生徒を自律させなければいけないのかを、研修で伝えるようにしています。もともとの個別指導からeトレでの自律学習の指導に業態転換してからは、特にしっかり伝えていきますね。

**木川** それでは、実際の研修の内容はどのような感じですか。



エルソフト株式会社  
佐々木 順一 専務取締役

**原田** 全体を5つ程度のブロックに分け、研修はそのブロック単位、もしくは全体で行っています。例えば入会するとき何をどう話すかということや、何を覚える、その場で一字一句間違えずに発表するといった暗記型や、自分ならどう話すかということや、考えた上で、他の講師の前でロールプレイングを行い、それを評価するような形など、多様な研修を行っています。

また、授業の前に「理論訓示」という室長から話をする時間を3〜5分設けています。教室の雰囲気づくりや、生徒にいろいろ考えさせるとい意味でも大切な時間なので、こちらもしっかり研修しています。こういったネタをどのように話しているか室長同士が持ち寄り、「もっとこうした方がいい」など意見を交わさせます。ネタを考える中で、本や教育に関する記事を読むようになったり、歴史の勉強をするようになったりと、講師たちがおのずと自己啓発するようになり、良い効果が出ていると感じています。

さらに、ブロック単位だけでなく、性別・年代別など別のグループでも週1回ミーティングの機会を設けています。ブロックとは違う関係性ということで、会社や組織に対しての意見がぎくばらんに交わされ、盛り上がりつつあります。社員が自律するプロセスにとっても役立つと感じています。

有しています。

**佐々木** いろいろな研修をされているので、やはり学習塾では、指導形態は何であれ、最後には「人」が大切だと感じます。教室見学させていただいたときに、実際に忘れ物について指導されている様子を拝見しましたが、先生の真摯な言葉に驚きました。「忘れ物はダメだよ、気を付けてね」ではなく、忘れると生徒自身にどんな不利益があるのかをきちんと説明する。こうやって話せば、ちゃんと生徒にも伝わるのだな、と。

さまざまな研修などを通して、先生方が生徒のためを思うなら何が必要なのか、どういう接し方がいいのか、考えられているのがよく分かります。人材育成から生徒対応まで一貫した理念のもと、御社の皆さまの切磋琢磨があるからこそ、自律学習への転換も順調に進んでいるように思います。

**原田** ありがとうございます。当然個別指導の良い点は十分承知し、これまで培ったノウハウもあります。その上でなお、我々は、生徒のことを本当に考えた結果、これまでの個別指導から自律学習へ舵を切る決断に至りました。この転換は順調とは言え、個人的にはこの戦いはこれから正念場を迎えると感じています。しかし、この選択は間違っていないと確信しています。私だけではなく、講師全員、そして生徒や保護者の方も、この変革で良かったと心から思えるよう、まい進していきたいと考えております。

**木川** そうですね。微力ながら弊社もできることはさせていただきたいと考えております。今後ともどうぞよろしく願っています。

# eトレの生みの親が語る 塾が居場所

前回、素晴らしい学習塾というタイトルで佐々木(仮名)先生の塾を紹介したが、私が現役の出会った先生(チューター)には、理想に近い方々がまだまだいらした。

ある中規模の学習塾にアルバイトで勤務していた短大生である。その塾の卒業生でもあるという。小学生のeトレ教室を見学したときのこと、授業が始まる前から、終わってから、そのチューターに生徒が入れ代わり立ち代わりやってきて自分の話を聞いてもらっていた。テストの成績のことばかりではない。友達のことや生活の1コマを自慢げに、また反省的に喋る。チューターは、一人ひとりに耳を傾け「良かったねえ」と言葉を返している。批評などせず話を聞いてやり、ありのままの生徒を認めてやっている。その光景が続く。その時間を大切にしているようだ。見ていた私はあることに気づいた。このチューターの居る教室が子どもたちの心地よい居場所になっているということ。

子どもの居場所、それは自分が無条件に大切にされる場所。安心して帰属できるコミュニケーションのこと。そこには、温かい人間関係がある。たとえ自分が弱虫でも、学業の成績が悪くても、反抗的であっても、寛容に見守ってくれ無条件で人間としての尊厳を肯定してくれる。安心して自由に発言できるし、思い切り翼を広げられる。そこが居場所であり、子どもだけではない人間だれしもそういう場に飢えていると思う。

子どもたちにとってまず家庭であり、家庭を居場所にする子どもは幸せである。そして次には学校であるはずだ。学校が居場所として満足できればさらに幸運である。ところがどこか、そうはいかない。今、子どもたちは様々な問題を抱えており、そこに現下の状況の要因があるのではないかと思われる。

では、家庭は子どもの居場所としての役割を果たしているのか？  
昭和の大家族時代、子どもが学校から帰宅するとお母さんがいた。おじいちゃんやおばあちゃんもいて、学校のこと、近所の友達のことなどを話したり、大人の話を聞いたりして過ごす時間があつた。まず、家族からそして近

## 塾が居場所

所の大人や年上の遊び相手からいろいろなことを教わって育った。家長の厳しい環境もあつたが、マンガ「サザエさん」一家のような和やかな家庭が、子どもたちだけではなく家族みんなの居場所となつた。

そんな風景が今はない、と言っているほど稀少である。圧倒的な多数派を形成するのは核家族であり、共稼ぎ家庭である。それぞれが忙しく「家族団らん」の時間は贅沢で、それぞれがバラバラの日々を過ごすように様変わりしている。弁当はお母さんが作るのではなく、コンビニで買う。こういう時代、家庭に子どもの居場所としての役割を期待すべくもない。こんな時代、先述したが家庭が少しでも居場所になっている子どもは幸せである。

家庭は時代とともに大きく変わっている。だが、平日の殆どの時間を過ごす学校はどうか？ 頑なに昔からの作法を守っている。学習指導要領には手直しがあつても、学校固有の文化は前例を変えることはない。理不尽な校則、授業の内容や教え方、運動会や修学旅行などの行事は旧態依然としている。事細かく学校生活を締め付ける理由なき校則は意味なく生き残る。個性を尊重するなどと言いつつ均質性主義と集団主義。従順さとガンバリズムを重視する価値観など、子どもたちを窒息させることはあつても居場所としてのコミュニケーションを夢見る事すら拒絶されている。

そう、居場所どころではない。一般社会とは異文化の学校の管理主義は徹底すればするほど、生徒にとっては逃れられない重大なストレスであり、やっつけられないのである。就学人口は減ってきているのに、いじめや不登校が増え、自殺者が後を絶たない。

また、地域社会の問題もある。我が子がじめじめにあって自殺、そのことを学校に訴えても担当教師や校長、教育委員会はいじめを認定しない。そういうとき、遺族が学校を訴えてもする他の生徒の保護者や地域の住民がいじめられた子やその遺族への同情を示すのではなく、「学校を困らせる」ことへの批判の声を上げる「学校や町の平和」を乱すことであり、地域社会への反逆であるというお門違いの非難を受け

なければならぬ。そんな不正義な「村社会」に住み続けるのは悲劇だし、それを目撃している子どもたちをけん制し委縮させる。

以上、見てきた子どもたちを囲む環境は端的に言って抑圧的である。「頑張り」と「従順さ、けなげさ」を装うものの、子どもたちの心は自分の居場所を求めて漂うのである。不登校や「ひきこもる」所まで行ってしまふ子どもがいて当たり前。SNSに安心できる場所を探し求める子どもも多い。そこでは、誰からも自由でいられる匿名空間があるからだ。子どもたちは得体的にしろ不安と寂しさを抱えながら日々を送るも、生きる拠り所無しではいられない。

ユニセフ(国連児童基金)は、先進国(38か国)の子どもの幸福度ランキング調査を昨年9月に公表した。それによると、日本の子どもの「精神的幸福度」は37位と調査対象国の中でワースト2位だった。日本は直接戦争やテロに巻き込まれていないわけではないし、治安も良くモノは豊富で衛生面でも断然良い部類に入る。恵まれた環境にあるのだが心の幸福度は底辺にある。それを裏付けるかのよう、生活満足度は最低で若者の自殺率が高い。日本国政府は慌てて対策に走らざるを得なくなっているわけだ。

冒頭に紹介したチューターは、そんな子どもたちの抱えている病弊の研究者でもなければ、知見もないと思う。だが、あつからんとして問題の急所を押さえてしまふのだ。生来の明るさと思いがりがそうさせている。そしてその方はいかにも幸せそうに見える。そのお裾分けで、子どもたちも塾に来てハッピーになれる。そんな塾、eトレ教室が居場所、だから学校を休んでも塾には無理しても来る。素晴らしいと思う。



猪野 二三男  
塾経営コンサルタント  
大手進学塾で24年間勤務。役員として活躍。その後、独立してエルソフト株式会社を立ち上げ、eトレを開発販売を開始する。

# 個別指導 「3.14…」

—北海道 札幌市—  
(28校舎)

eトレ導入 2021年 4月



▲庄司理央 室長

▲中村久理子 室長

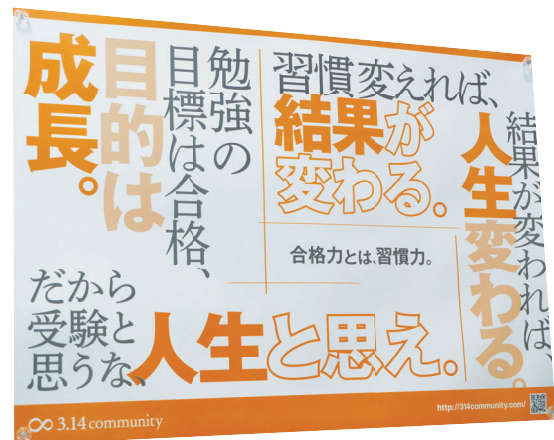
## 隣のeトレ教室訪問

北海道札幌市にある個別指導「3.14…」では、自分で能動的に動く子どもを育てたいと考え、2021年4月に全28教室でeトレを導入。指導形態も従来の1対2の個別指導から、集団個別指導へと切り替えました。学力向上はもちろん、eトレを通じて生徒たちの自律性を高め、能動的な学習を実現しています。

今回は、札幌駅前校の庄司室長と札幌中央校の中村室長に、eトレを使った小学生の自律学習についてお話を伺いました。



eトレスーパーバイザー 山田 ▶



▲自己啓発を促すポスター

たいという意欲的な生徒もいますね。回数としては、週1回から通い始める生徒が多いですが、6年生になるとほとんどの生徒は週2回に増やしています。

**中村** 札幌中央校は、約半数以上が中学受験生だというのが近隣校舎と異なる特徴です。道内の中学受験は4教科型が多いため、受験生のほとんどが4教科すべて受講し、週2回以上の通塾をしています。そのような受験生にしっかり対応するため、理論訓示で話す内容のブラッシュアップを常に図り、日々の生徒指導に活かしています。また最新の受験情報の共有を綿密に行っています。

**eトレはすべて生徒が操作**  
**ほとんど進んで早くも**  
**学年範囲が終わる生徒も**

**山田** eトレは生徒さんが操作しているのですね。  
**庄司** 生徒全員がeトレを操作できるので、先生が授業中にeトレを触ることはほとんどありません。学年ごとに学習計画をあらかじめ作成しているため、生徒たちは迷うことなくプリントを選んで学習できます。教科書の学習順に沿った分野も追加されたので今後は活用していきたいですね。宿題もeトレから出しています。学習した内容をしっかり定着させたい場合は合格した単元のリトライ・リチェックを、先取りをメインで取り組んでいる場合は次の単元のラーニング・ステップを渡します。eトレはかなりの問題量がありますが、この夏休みにすごく頑張つて、もう6年生の内容まですべて終えてしまおうなほど進んでいる生徒もいます。1枚あたり問題量を抑えられている分、サクサク解けるので、eトレだと夢中になって学習していますね。

# 「主体性のある人間に育てる」を コンセプトに、小学生から徹底指導 生徒が自ら行動して学習を進めていく、 自律的な学びを体現した教室運営を行っています

\*個別指導「3・14…」では自主性を重んじ、自学力の育成を行う観点から「自立」ではなく、「自律」を用いています。

**生徒の主体性を高めるために**  
**さまざまな工夫を実施、**  
**意欲的な生徒が増えていきます**

**山田** それではまず、個別指導「3・14…」の指導方針を教えてください。

**庄司** 「生徒が自律して主体的に学ぶ姿勢を育てていくこと」です。生徒が将来、自立した大人になれるようにと考え、日々の指導を行っています。そのためにも、手取り足取り教えるのではなく、まずは生徒自身に考えさせることを意識して指導していきます。もちろん、最初からすべて自分で考えるというのは難しい生徒もいますので、そういった生徒には少しずつ助けを入れながら、徐々に自律を促しています。

加えて、生徒同士が切磋琢磨できる環境となるよう、レイアウトも工夫しています。学年、教科混在で、時には小学生と中学生が同じテーブルに座ることで互いに良

い刺激となり、より自律性が高まると考えています。

さらに、授業の冒頭には必ず「理論訓示」という時間を設け、勉強に対する姿勢やこの時期はこういう勉強をしようといった学習面の話はもちろん、人としてどう行動してほしいかなど勉強以外についても、室長から直接生徒に話します。このようにして、日頃から生徒たちに指導方針を伝えていきます。

**中村** それから、生徒一人ひとりが勉強を通して自信をつけ、自分という人間をちゃんと前に出せるようになってほしいと考えています。いろいろな学校の生徒が通塾していると



▲オープンなテーブルで学習

## 教室の動画もぜひご覧ください

自律的な学びをeトレで実践している個別指導「3.14…」

実際の演習の様子を動画でご紹介  
教室の生の様子、生徒の反応などご覧ください！



## カリキュラムに沿ってeトレ演習を実施

**山田** eトレは普段どのように使われていますか。

**中村** 生徒の目的に応じてあらかじめカリキュラムを作成して学習させます。中学受験生は、毎月受けているテストの出題範囲に沿った内容をベースに、志望校に合わせてカリキュラムを個別に作成しています。なかには偏差値60くらいの中学を目指す生徒もいますが、eトレの中学入試対策Cの問題で十分に対策できます。

演習の流れとしては、授業開始前に最初に取り組みプリントを印刷します。授業が始まったらプリントを解き、自分で丸付けをして先生のところを持ってきます。そのときに1、2問簡単な問題を出して理解度をチェックします。特に理科や社会は書いて覚えたつもりになっていないか、よく確認しています。「すごいじゃん」「惜しかったね、次は頑張ろう！」など声掛けがしやすく、コミュニケーションをしっかりと取れるのが、eトレの良さですね。

## 一人ひとりの生徒に合った コミュニケーションを意識し、 見てくれている感覚を醸成

**山田** eトレに夢中になってくれているのはうれしいですね！ちなみに、eトレを使う上で意識していることなどありますか。

**中村** 生徒一人ひとりに合ったコミュニケーションをとることを心掛けています。生徒の学力や性格をしっかりと把握して、自分のことをしっかりと見てくれているという実感を持たせるようにしています。授業中は、勉強が捗っているか適宜声を掛け、生徒の様子や手元をよく見ています。また、勉強中の姿勢やプリントを持ってこる頻度



▲自分で操作してプリントを印刷します

なども気に掛けます。

また札幌中央校は中学受験生以外にも、中学受験をしないけど普段から理社まで受講する生徒など、さまざまな生徒がいます。そのため、この問題でつまづいていたなど授業内のことはもちろん、学校でこんなことがあったようだといった細かい部分まで、授業後に生徒情報を全スタッフ間で共有し、各生徒に適した対応がとれるようにしています。



▲適宜声を掛け、コミュニケーションを図ります

**「自分でできる」が楽しく、1枚ごとの「褒める」で生徒の意欲もさらにアップ**

**山田** スタッフ間での情報共有は欠かせませんよね。それでは、eトレを使い始めて良かった点を教えてください。

**庄司** やはり「自分で動く」というところが一番ですね。今までは、先生に指示されたテキストの範囲を解いて、丸付けをする。分からないところがあれば先生が教えてくれる、という受け身のスタイルでした。しかし、今はeトレをすべて生徒自身が操作する、つまりは自分で動く形になっています。そのため、「自分でやっている」という実感を持たせやすいです。

また、どこを学習しているか、ひと目で分かるというのは本当に便利です。これまでは、ノートがぐちゃぐちゃでテキストのどこを学習したか分からなくなってしまう生徒が多くいました。ところがeトレだと、画面を見ればどこまで進んだか進捗を

すぐに把握できるので、こちらでも管理しやすくて助かっています。

**中村** 単元が細かく分けられていて、生徒の得意不得意がはっきり分かることです。文章題一つとっても、この表現は得意・苦手、といった細かい部分まで把握できます。実際、生徒自身で苦手に気付く機会も増え、面談でも具体的なフィードバックができるので大変喜ばれています。

そして1枚ずつテンポ良く進めていけるので、飽きずに学習できるのも魅力です。さらに1枚解き終わるごとにコミュニケーションをとる機会があったり、判定があったりと、何度も褒めてもらえるので生徒も楽しく学習できるようです。

**理科・社会の点数が大幅アップ！今後の学習にも活かせる結果に**

**山田** 能動的に動くこと、また先生とのコミュニケーションをとることで、生徒たちのやる気の後押しになっているのですね。eトレを始めて成績アップなど効果はありましたか。

**庄司** 良い変化が表れています。先日行われた道コン(北海道学力コンクール)の結果が返ってきたのですが、多くの生徒たちの合計点数が上がっていました。eトレを使うことで、演習に費やす時間や量が増えたことが一番の要因だと思います。

また、授業以外の科目のプリントに取り組んでもOKとしたところ、この夏休みは自習しにくる生徒が増えました。自習では教室に来ないとプリントを印刷できないので、能動的な来塾につながったのだと思います。先述の「理論訓示」でも道コンに対する意識づけを徹底していたので、相乗効果もありますね。

**中村** 今回の道コンでは、理科と社会の点数アップが目立ちました。eトレで学習し始めて、総合で20〜30点上がった生徒もいます。対面形式の授業だけだと分かったつもりになって終わってしまうことがありますが、eトレではラーニングを読んで理解



▲おしゃれな自習スペース

し、すぐに問題演習に取り組めるので、インプットとアウトプットがバランス良くできます。

自習時間でも、道コンや模試の範囲表をもとに、生徒が取り組みたいeトレ単元を選びます。意欲的に取り組む生徒の姿と結果を見て、やはり自分の意志で勉強すると結果がついてくると感じました。生徒も勉強した分は成績が上がると分かったと思うので、今後も良い循環ができると思います。

**生徒からは楽しいと大好評、保護者からは自律性を高められると評判に**

**山田** 生徒・保護者からのeトレの評判はいかがですか。

**庄司** 1対2の個別指導からの大きな変化でしたが、生徒たちは抵抗なく受け入れてくれました。嫌だという声も全くなく、むしろ「自分でできて楽しい」と言ってくれています。

保護者の方からは、ひと目でその日に学習した量が分かるのが良いと好評です。札幌駅前校ではeトレ専用のファイルを用意して、授業ごとにプリントをとじて持ち帰らせており、「こんなにやったんだね」と驚かれることが多いです。面談の時期には学習記録表を渡して、どれくらい進んでいるか伝えていきます。ただ進めていくわけではなく、一回で合格できなくても、リトライやリチェックでやり直しができるので、その点も安心感があるようです。

**中村** eトレの導入により、今までより前向きに学習に取り組む生徒が増えました。毎回先生に丸をもらえたり、プリントがどんどん出てきたり、生徒が自分でパソコンを操作できたりと、能動的な動きが楽しいようです。また、



▲ファイルは、いっぱいになることに更新

宿題として好きなだけeトレプリントができるようにしています

が、楽しくてかなりの量を帰る生徒もいるほど人気です。どのプリントをいつやるなど、計画を立てて進めているようで、自分から勉強したいと志願する生徒が以前より増えました。

当初、保護者の方からは指導形式の変更に不安の声もありました。しかし、学習内容を理解した後のアウトプットトレーニングが必須で、eトレならそれが簡単にできるとお伝えすると、ご納得いただけました。保護者の方も、自身の意志で取り組んでほしいという気持ちは強いので、生徒が能動的に動いて、自律性も高められるものだと言えると、共感してもらえることが多いです。

また、札幌中央校では、eトレの各科目のカリキュラム一覧表を1年分出力して、面談時に保護者の方と共有しています。それをもとに現在の学習進捗や、いつまでにどこまで進められれば良いかをお話できるので、特に中学受験生には効果的です。保護者の方からは安心できると言っていただけます。

**体験希望の生徒にも「自分でできる」の実感を持たせ、入塾後の期待を高める工夫**

**山田** 生徒たちを勉強に夢中にさせるには、能動的に楽しくできるということがポイントということですね。生徒を集める方法や秘訣などはありますか。

**庄司** 入塾希望の生徒にも、いかに「自分でやらせるか」ということを意識しています。ですので、体験授業ではもちろんやり方を教えますが、最終的には自分ででき



▲さまざまな学年の生徒と一緒に学習します

たと実感できるように演出しています。「すごいね、こんなのも自分でできたの？」と少し大げさに褒め、「実際に通ったら、もつとできることが増えるよ。そうしたらお父さん、お母さんも喜んでね」とやる気になる声掛けを徹底しています。そうすることで、生徒はもつと自分でできるようになりたいと感じ、その後の入塾につながりやすいです。

**山田** いろいろとお話をお聞かせいただき、ありがとうございます。最後に今後の展望、意気込みをお願いします。

**庄司** eトレは生徒が自律して学習するのびびったりなツールなので、これからもより生徒が主体的に学習できるように指導していきたいと思っています。また、勉強することが楽しいと感じ、モチベーションを高く維持できるよう、さまざまなイベントの企画や環境を工夫するなどして、生徒たちの自律をサポートしていきます。

**中村** eトレを通して、生徒一人ひとりが前向きに自分の意志で学習ができるように、これからも指導していきたいと思えます。また、子どもだからという理由で区別せず、人として社会で求められることが今からきちんとできるように、導いていければと思っています。

**山田** 「生徒が自分でできる」という指導を徹底している個別指導「3・14」の様。生徒が自律的に学習できるよう、一人ひとりの目的に合わせたきめ細やかな生徒指導を行い、理想的なeトレの活用をしています。生徒と多くのコミュニケーションをとることで、前向きに学習を進めている様子がとても印象的でした。引き続き、より一層eトレをご活用いただければ幸いです。今後ますますのご発展を祈念しております。

# “解く力”に — この冬、圧倒的な演習量を



## eトレLinkで 家の時間まで有効活用する

教室での演習時間には限りがあります。そこで、家での演習を足すことで、更に効果的な学習を提供できます。学習塾は教室の時間だけでなく、家の時間も総合プロデュースする時代です。

- ✓ 時間も場所も問わないノマドスタディで時間を有意義に活用
- ✓ カリキュラムや授業の復習はeトレLinkへ自動配信
- ✓ eトレLinkとeトレsaは完全連携！

### 春パツク

お申し込みの方限定!

無料

eトレLinkを無料で利用可能



## 演習量倍増プロセス

演習量を2倍、3倍に!

月	火	水	木	金	土	日
塾	休み ↓ e 家庭学習	休み ↓ e 家庭学習	塾	塾	休み ↓ e 家庭学習	休み ↓ e 家庭学習

スケジュールの一例です!



### 教室指導にはeトレsa

#### ① 自立学習の習慣づけとやる気アップ

学習の動機づけは教室から! スモールステップのプリントで褒める機会が増え、生徒のモチベーションアップ。



### 家庭学習にはeトレLink

#### ② ひたすら演習に取り組める家時間は、“解く力”を鍛える絶好のチャンス

生徒一人ひとりの目的に合ったカリキュラムを自動配信! 生徒は何を勉強すべきか迷いません。



### 教室指導にはeトレsa

#### ③ 教室でフォロー! やりっぱなしにさせない

家庭学習状況は教室のeトレで確認し、適切なフォローを! 家庭学習まで丸ごと面倒を見て、保護者にアピール。



## eトレsa・eトレLink導入塾の【声】



個別指導学院ヒーローズ 泉大津校 (大阪府泉大津市)  
**野中智世 塾長**

### 友人同士で切磋琢磨し、共に地域のトップ校に合格!

夏に部活を終えてから、毎日教室に熱心に通い、eトレで基礎から入試対策まで取り組んだ2人の生徒がいました。入試直前には、日々積み上がっていくプリントの山をお互いに見て、競い合いながら頑張った結果、どちらも地域のトップ校に合格することができました。モチベーションを高め、良い影響を与え合いながら学習できるというのは本当にうれしいですね。



渡辺私塾 荒町教室 (栃木県真岡市)  
**渡辺佳寛 塾長**

### eトレで苦手科目を克服し、地元のトップ校に首席合格!

小中学生の学年混在でeトレ演習は行っています。下級生は先輩のように自分も頑張ろう、上級生はお手本になろうと、双方に良い効果があり、コミュニケーション力も上がっています。またeトレはピンポイントで苦手を強化するなど、個々のニーズに合わせられるので重宝しています。社会だけがどうしても苦手だった生徒が中3の夏休みから徹底的に取り組み、地元のトップ校に見事合格できました。



日米文化学院 (千葉県八千代市)  
**柳田浩靖 代表**

### 夏期講習中、演習量の確保に大活躍!

高校生全員にeトレLinkアカウントを配布し、家庭や、塾の自習室での演習量アップを図りました。高3生では、7月、8月で総計1,000ページくらいを学習する子もいて、入試に向けての底力作りになったと思います。生徒からも教室と変わりなく演習できると好評でした。eトレとeトレLinkを高校生の学習の効果測定ツールとして最大限活用していきます。

# 近道はない。“解いた数”だけが、

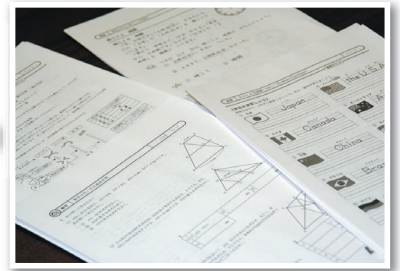
教室では



“コロナ禍においても、やはり一番保護者からのニーズがあるのは通塾”  
もくもくと一人で学習が進められる生徒以外は、先生の力なくしては学力の向上が  
図れません。eトレなら、楽しくコミュニケーションを増やしなが、どんどんプリント  
を解き進められる仕掛けが盛りだくさん。入試に向けた強力な武器としてもご活用  
ください!

eトレなら

先生と生徒と保護者の3者のつながりを  
より強固にしなが、圧倒的な演習量を確保できる



eトレの学習の流れは、

生徒のモチベーションアップに  
効果抜群。

- 飽きずに進む1枚10分程度の問題プリント
- スモールステップで生徒を褒める機会が増え、やる気アップに効果的



先生



生徒



解いた大量のプリントが、  
演習量に見える化。

- 取り組んだ量=頑張りが目に見えて伝わる
- 努力が保護者へも可視化されることで、一層前向きな通塾に



保護者

成績管理もバッチリ。

簡単フィードバックで保護者の安心感を。

- 学習状況は一覧表やレーダーチャートで可視化
- 保護者へのフィードバックも簡単&スムーズに

## 今年の入試対策でもeトレ

18万ページ100万題を収録するeトレで  
個への対応を強化し、合格への確かな自信を!

- ✓ 目的に合わせた入試対策カリキュラムで反復演習
- ✓ 苦手や入試頻出単元をピンポイントで学習

まずは【入試特訓コース】を設定。  
生徒に合わせた個別カリキュラムを作成することで、演習量を確保し、  
確実な得点力を身につけさせましょう。

入試特訓コース例		
時間割(1コマ90分)	月・水・金	16:30 ~ 18:00
	火・木	16:30 ~ 18:00, 18:10 ~ 19:40
	土	13:10 ~ 14:40, 14:50 ~ 16:20
料金(月額/税込み)	週1回	5,280円
	週2回	9,240円
	週3回	11,880円

みんなの  
サクラを  
咲かせてい!



春パツク

お申し込みの方限定!

無料 得点力を  
グンと高める!

高校入試対策  
カリキュラム

無料 カリキュラムを  
120%使いこなす

カリキュラム  
活用ハンドブック

今年の入試対策は、eトレ+eトレLinkの自立型学習で体験したことのない演習量を実現!

近道はない。  
“解いた数”だけが、“解く力”に

# eトレ 春パック

のご案内

1か月分の料金で初期費用も無料のスペシャルパッケージ

【教室×家】学習時間をしっかり確保し、学習量を大幅アップ!  
“解く力”を養う演習で得点力を高め、成果につなげる

### ご利用期間

- 3つの期間から選んでeトレをお使いいただけます。
- 【ターム1】2021年12月20日(月)～2022年2月28日(月)
  - 【ターム2】2022年1月20日(木)～2022年3月31日(木)
  - 【ターム3】2022年2月20日(日)～2022年4月30日(土)

まずは春パックで、  
生徒の学習習慣づけを

動画でも分かる!  
今回の春パックを  
より効果的に活用する  
方法をホームページで  
大公開!



## 春パック4大特典

- 家庭学習用WEBアプリ[eトレLink]  
1. が1アカウント～∞無料!  
※eTresaに生徒登録が必須です  
eトレLink学習用の  
オリジナルレズリーフも!
- 高校入試対策カリキュラム  
教室での自立型学習でも、家庭学習でも!
- カリキュラム活用  
ハンドブック
- 初期費用  
無料

### 春パック料金表

※価格はすべて税込価格です。

問題データ	登録生徒限定コース (生徒数25名まで)	標準コース (登録無制限)	プラスユニット	登録生徒限定コース (生徒数25名まで)	標準コース (登録無制限)
1ユニット(小・中・高より1種類)	27,500円	41,800円	英検®対策(5~2級)	各3,190円	各4,510円
2ユニット(小・中・高より2種類)	33,000円	49,500円	漢検対策(7~2級)		
3ユニット(小・中・高すべて)	38,500円	57,200円	数検特訓(5~3級)		
			eジャッジ	8,030円	

教室では **eTresa**

生徒同士の切磋琢磨や、  
先生からの声掛けて  
“学習モチベーション”が向上

- 学年・科目混在での同時演習が可能
- 18万ページ100万題の豊富なデータベースから生徒に合わせた個別対応



家庭では **eトレLink**

演習量を  
徹底的に確保し  
“解く力”を鍛える

- 時間と場所を選ばないノマドスタディ
- 教室演習の復習やカリキュラムを家庭に自動配信



### 完全連携!

“相乗効果”で  
2倍3倍の演習量を、  
そして学習効果を

もっとeトレを詳しく知りたい方は、こちらをチェック!

#### オンラインでのデモンストレーション



ミーティングアプリ「Zoom」を使って、eTresaやeトレLinkの画面を実際にお見せしながらご紹介します。

#### eトレシミュレーター



eトレの基本操作はもちろん、eトレを使った授業の様子が動画でわかります。実際、貴塾での導入イメージを体感してください!

パソコンでも  
スマホでも

お申し込みや詳細は  
ホームページから



■ eトレに関するご相談やお問い合わせは  
お近くの教育開発出版(株)各営業所、またはeサポートまで。

エルソフト eサポート

電話 **050-3822-5800**  
メール **info@e-tj.net**

塾経営者の皆様へ耳寄り情報

**eトレ Times 2021 秋号**

発行人 教育開発出版株式会社

〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-39-12  
Tel.03-3304-5291 Fax.03-3304-8791



導入実績  
全国7,000教室  
さらに拡大する



**教育開発出版株式会社**  
KYO-KAI www.kyo-kai.co.jp

本社 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-39-12 ☎03(3304)5291

- |          |  |               |
|----------|--|---------------|
| 東京営業所    | 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-39-12                  | ☎03-3304-5321 |
| 千葉営業所    | 〒273-0012 千葉県船橋市浜町2-1-1 さらぼーと三井ビル8F 816号室    | ☎047-437-1571 |
| 埼玉北関東営業所 | 〒336-0022 埼玉県さいたま市南区白鶴3-6-7 シャトレヌ武蔵浦和2F      | ☎048-839-1571 |
| 横浜営業所    | 〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央1-28-11 平本ビル5F       | ☎045-914-3819 |
| 札幌営業所    | 〒065-0020 北海道札幌市東区北20条東17-2-26 ハイツ元町101      | ☎011-790-8390 |
| 仙台営業所    | 〒982-0031 宮城県仙台市太白区泉崎1-39-10 富沢公園パークマンション104 | ☎022-307-1640 |
| 湘南営業所    | 〒247-0009 神奈川県横浜市栄区鍛冶ヶ谷2-33-1                | ☎045-893-4891 |
| 静岡営業所    | 〒426-0041 静岡県藤枝市高柳3-1-3 シャルム平井1F             | ☎054-636-6123 |
| 名古屋営業所   | 〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-19-13 KSビル3F         | ☎052-452-9901 |
| 関西支社     | 〒567-0888 大阪府茨木市駅前3-2-2 兜永ビル2F               | ☎072-604-8800 |
| 広島営業所    | 〒733-0834 広島県広島市西区草津新町1-3-19                 | ☎082-501-3553 |
| 四国営業所    | 〒790-0044 愛媛県松山市余戸東5-11-25                   | ☎089-974-1629 |
| 福岡営業所    | 〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉4-3-2 博多エイトビル6F         | ☎092-441-4621 |
| 沖縄営業所    | 〒901-0312 沖縄県糸満市北波平48                        | ☎098-992-0522 |